

# 今年度の予算のいろは

平成27年度の予算が市議会で可決されました。一般会計は429億3400万円、前年度に比べると3億4400万円(0.8%)の増額となり、これに特別会計と企業会計を含めた総額は856億9603万9千円で、前年度に比べ36億1810万3千円(4.4%)の増額となっています。特集では、平成27年度予算の様子について紹介します。▼問合せ 財政課

## よ 予算って？

予算は自治体の1年間の政策であり活動計画であり、それに必要なお金の裏付けとなるもので、予算書は情報が詰まった「設計書」に例えられます。

市の予算は「一般会計」、「特別会計」および「企業会計」で構成されています。

### 【会計は3種類】

**一般会計**：市が行う仕事の大部分を経理するための会計で、市税や国・府からの支出金などが財源です。防災、福祉、健康、教育、道路・公園の整備など、市民の皆さんに最も関わりの深い会計です。

**特別会計**：特定の歳入や歳出を一般会計と区別し経理する会計で、国民健康保険・下水道事業・

総額 856 億 9,603 万 9 千円

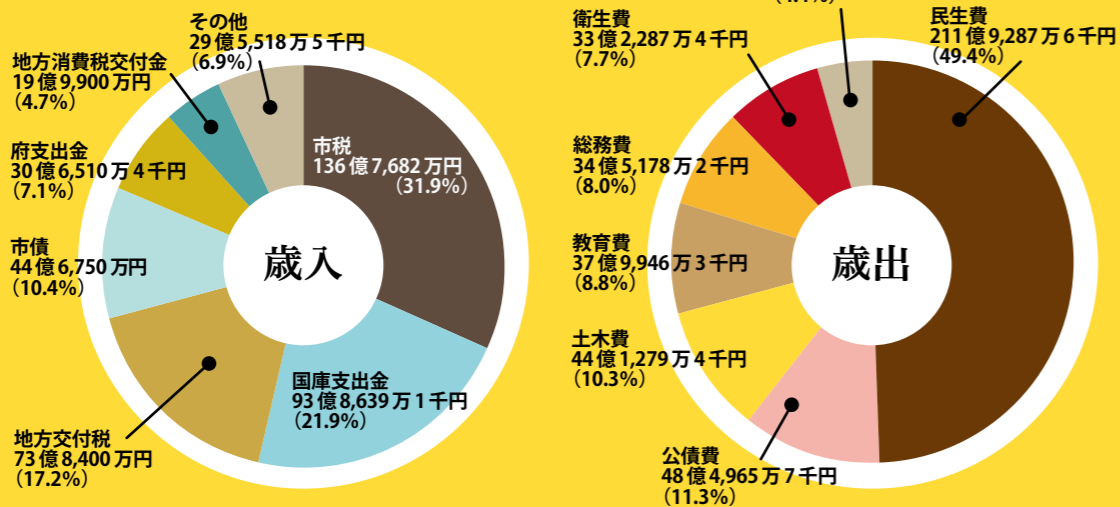
会計名	27年度予算額	増減率(%)
一般会計	429億3,400万円	0.8
国民健康保険会計	201億6,300万円	14.0
下水道事業会計	64億1,200万円	3.9
財産区会計	11億438万4千円	△11.0
介護保険会計	98億1,039万5千円	5.1
後期高齢者医療会計	14億6,166万円	6.0
小計	389億5,143万9千円	8.8
企業会計		
水道事業会計	38億1,060万円	3.5
小計	38億1,060万円	3.5
合計	856億9,603万9千円	4.4

※表中の財産区会計の予算額は、8財産区会計の合計です。

財産区・介護保険・後期高齢者医療の会計があります。  
**企業会計**：一つの会社のように、独立採算制で事業・経理を行うもので、市では水道事業会計があります。

## 一般会計 429億3,400万円

### 歳入・歳出の内訳



歳入については、市税が約136億8千万円で、歳入予算総額の約3割を占めるほか、地方消費税交付金が約20億円(前年度比39.7%増)となっています。

歳出については、生活保護費などが増加した民生費が約211億9千万円(同2.4%増)で、歳出予算総額の約半分を占めるほか、教育費・公債費において増加がみられます。

## 予算を

## か 家計に例えると？

平成27年度の一般会計当初予算をひと月の収支が35万円の家計に置き換えました。それぞれの予算額を3月1日現在の人口(122,689人)で割った金額です。 ※各項目で端数処理しています。

収入		支出	
給料(市税)	111,500円	食費(人件費)	61,000円
パート収入(使用料及び手数料など)	9,600円	医療費や学費(扶助費)	109,800円
親からの仕送り	182,600円	ローンの返済(公債費)	39,500円
(国・府支出金、地方交付税など)		光熱水費など雑費(物件費)	41,300円
資産運用収入など(財産収入)	1,400円	子どもへの仕送り(繰入金)	50,000円
預金の取り崩し(繰入金)	8,500円	家の改修、車の購入(投資的経費)	24,000円
ローンの借り入れ(市債)	36,400円	その他(補助費等、積立金など)	24,400円
合計	350,000円	合計	350,000円

支出(歳出)の分類方法はさまざまなものがあります。民生費、土木費、教育費など行政目的に応じた分類に対し、ここでは性質を基準として支出を分類しています。

- 人件費**：市役所で働く職員に対し支払われる給料など
- 扶助費**：高齢者や障害者、子育てなどのお金をサポートするお金
- 公債費**：市債の償還などにかかるお金
- 物件費**：光熱水費、文具などの購入費、事務機器のリース代など
- 繰入金**：一般会計から特別会計に対して支払うお金
- 投資的経費**：公共施設の整備などにかかるお金

支出のうち、食費、医療費や学費、ローンの返済は「義務的経費」と呼ばれこの経費が多いことは家庭のエンゲル係数と同様、生活に余裕がないことを意味します。市では約60%となっています。

point!

## さらなる協働の推進

2期目の就任にあたり、市民の皆様とお約束しました「安心・安全なまち日本一」「長生き日本一」「便利・清潔なまち日本一」の実現を掲げ、その達成に向け、スピードを持って「さらなる挑戦」を進めてまいります。そのような中、松原市は本年2月に市制施行60周年を迎えました。これからも、市政に何が求められているのか、常に冷静に見極めながら、大阪初の「セーフコミュニティ国際認証都市」として、市民の皆様との協働の取り組みをより一層推し進め「日本一健康で安心・安全なまちづくり」に挑んでまいります。WHO(世界保健機関)の推奨する「セーフコミュニティ」の取り組みについては平成27年度は「安心・安全なまちづくり」のさらなる取り組みの一つとして、大阪府・大阪府警察本部などに働きかけ、広域的に幹線道路に防犯カメラを設置することにより、犯罪防止対策のネットワークづくりを推進してまいります。このセーフコミュニティの理念に基づき、これまでも取り組んでまいりました安心・安全な学校づくりを一層進め、「体及び心のけがや、その原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進めてまいります。」



第1回定例会で施政方針を述べる澤井宏文市長

## 平成27年度の主な事業 (繰越事業を含む)

■は新規事業 ●は継続事業 金額は事業予算額

### 1 安心して住み続けることができるまちづくり

#### さらなる協働で安心・安全なまちづくり

●セーフコミュニティ推進事業 7,717千円

セーフコミュニティの取り組みの成果として、街頭犯罪や交通事故による救急搬送、火災発生などの件数が減少しています。大阪府初のセーフコミュニティ国際認証都市として、地域とのさらなる協働により、安心・安全なまちづくりをより一層進めます。



#### 浸水災害に強いまちづくり

●雨水整備の推進 188,940千円

近年の局地的豪雨による浸水災害を未然に防げるよう、雨水取込施設の整備や排水路改修などを計画的に進めます。また、公共水路への監視カメラの増設や市内の河川への監視カメラ設置により、浸水に対する危機管理体制を強化します。



#### 消防団を地域防災力の中核へ

■消防団充実強化事業 4,768千円

地域防災の要である消防団に対し、迅速かつ的確に活動できるよう安全装備品を配備するとともに、チェーンソーや油圧ジャッキなどの救助資機材を整備するなど、消防団活動の充実・強化を行い、災害に強いまちづくりを進めます。

#### きれいな住環境はまちの誇りです

■空き家実態調査事業 6,800千円

少子高齢化や核家族化などにより、空き家となった家屋が衛生面や防犯面において周辺に悪影響を与えるなど、全国的な問題となっています。市内全域における空き家の実態調査実施により基礎データを収集し、管理不十分な空き家への対策を進めます。



#### 広域防犯ネットワークの確立に向けて

■幹線道路などへの防犯カメラの設置 24,573千円

大阪府や大阪府警などと連携し、市内主要幹線道路に防犯カメラを設置する先駆的な取り組みを実施し、街頭犯罪などの抑止と犯罪検挙率の向上を図ります。また、町会との協働により、防犯カメラ設置台数を大幅に増やし、安心・安全に暮らせる地域づくりに努めます。



### 2 市民誰もが健やかに暮らせる 和らぎのまちづくり

#### 女性の健康を守ります

■女性のためのミニドック 3,543千円

乳がん・子宮がん検診を同時に受診できる機会を拡充するため「女性のためのミニドック」を新たに設け、受診しやすい環境を整備することで、働く世代の女性のがん予防を推進します。



#### 笑顔あふれる多世代交流施設

●(仮)元希者センター建設事業 67,650千円

子どもから元希者まで、さまざまな年代の市民の皆さんが利用でき、生涯学習や介護予防、健康づくりのさらなる充実を図るための新たな拠点施設として、平成28年度の完成に向けた施設整備に取り組みます。



#### 障害者の自立支援に向けて

■障害者のさらなる就労支援 12,707千円

障害者の就労支援として、市内の障害者就労支援施設が連携して立ち上げたNPO法人に対し、従来委託していた総合福祉会館の清掃業務に加えて、管理業務についても委託することで、障害者の就労体験の場を増やし、支援のさらなる充実を図ります。



#### 乳幼児の健やかな成長のために

■ロタウイルスワクチン接種費用助成 12,960千円

ロタウイルス性胃腸炎は乳幼児期にかかるると重症化しやすく、感染力も強い疾患です。大阪府内の33市で初となるロタウイルスワクチン接種に係る費用の一部助成を実施し、乳幼児の健やかな成長を守ります。



### 3 未来を拓く自立心を育む人づくり

#### 国際認証を目指します

■セーフスクール推進事業 2,500千円

体および心のけが、その原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める活動となるよう、学校、保護者、地域、関係団体が協働で取り組み、平成29年度のセーフスクール認証を目指します。



#### 子どもの学力向上に向けて

●教育用ネットワーク事業 49,385千円

これまで整備を進めてきた情報機器に加えて、新たに電子黒板ユニットを導入し、デジタルコンテンツを活用した教育に取り組みます。児童・生徒の興味・関心が高まるような、視覚的効果を用いた、わかりやすい授業づくりに努めます。



#### ふるさとに愛着と誇りを

■まつばら歴史再発見事業 6,550千円

広報紙に掲載中の「松原歴史ウォーク」を再編集し、ポケットサイズの冊子を刊行するとともに、電子書籍版を作成し、郷土資料コンテンツの充実にも努めます。また、遊びながら楽しく松原の歴史や文化、話題に触れる「まつばらかるた」を作成し、かるた大会を実施するなど、ふるさと松原の文化遺産の魅力を広く発信します。



### 4 利便なまち、元気で活力あふれるまちづくり

#### 地域住民によるまちづくりを支援します

■幹線道路沿道まちづくり事業 7,500千円

地元地権者による自発的な勉強会の実施など、本市総合計画の土地利用構想に位置づけた地域を中心に、これからのまちづくりに向けた支援を行い、将来における企業誘致なども視野に入れた施策を積極的に進めます。

#### 天美地区の新たなまちづくり

●天美地区土地区画整理事業 31,905千円

天美地区において設立された天美東土地区画整理準備組合や事業協力者と共に事業化に向けての準備を進め、区画整理の設計業務などに対する支援を行うことで事業を促進し、大規模商業施設の誘致を図ります。



## 今年度の市の

し

ごと

#### お買い物は松原市内で

■プレミアム商品券事業 167,000千円

市制施行60周年を記念し、松原商工会議所・松原市商店会連合会と連携しながら、市内の加盟店において買い物ができる、プレミアムが付いた商品券を発行・販売し市内における消費喚起と地域商業の活性化を図ります。

### 5 市民と行政の協働によるまちづくり

#### 多様な分野で国際交流

●国際交流事業 5,500千円

友好交流協定を結んだ、台湾台北(たいぺい)市文山区(うえんしゃんく)との友好関係をより発展させるため、子どもたちによるスポーツ交流事業を実施します。今後においてもセーフコミュニティ活動の連携をはじめ、教育やスポーツ、文化芸術、産業など多様な交流を図り、双方のさらなる発展につなげます。



#### 松原を全国区に

■全国へ向けた情報発信 43,610千円

市制施行60周年を迎えた松原市を府内はもちろん全国、さらには海外にもPRし、人口確保や地域産業の活性化、観光振興などへとつなげます。本市出身のフランブルが8月に開催する初の単独野外ライブを、市のPRを行う好機ととらえ、より効果的な情報発信を行います。



あ

事業見直しによる効果額

・公有財産の有効活用・公共施設の整理統合

効果

雨水浸水対策

子どもの学力向上に向けた取り組み

消防団の充実強化

妊婦健康診査助成の拡充

各種がん検診や予防接種など疾病予防対策

介護予防支援

歩行者などの交通安全対策

子ども医療費助成の拡充

市では限られた財源で最大の効果を生み出すよう、自主財源の確保や既存事業の整理合理化、近隣市とのごみの共同処理など事業の見直しに積極的に取り組み、その効果により必要な行政サービスを確認し、市民満足度の向上を目指します。

事業の見直し効果を  
新たな取り組みへ